

## 温室効果ガス削減計画

## 1 事業の概要

## (1) 事業所の名称

開発肥料株式会社 竹原工場

## (2) 事業所の所在地

広島県竹原市福田町東新畑295番地

## (3) 業種

その他の化学肥料製造業 (1619)

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

## 2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度(2017年度)を基準年度とし、平成30年度(2018年度)から平成34年度(2022年度)までの5年間とする。

## 3 計画の基本的な方向

当社は、J-POWERグループの一員として環境保全活動への取組みを継続的かつ積極的に推進するとともに、肥料製造・販売の事業活動を通して、環境管理をさらに効果的なものとしていくために、下記の環境方針を制定し全従業員で環境保全活動に取り組めます。

1. 従業員一人ひとりが環境保全活動を継続し且つ積極的に取組みます。
2. 省エネルギー、省資源、グリーン購入に積極的に取組みます。
3. 環境保全関係の法令・環境規則等を遵守します。
4. 地域社会と調和を図り、環境保全維持に努めます。
5. 本方針を全従業員と協力会社等に周知し、教育・訓練・啓発に努めます。

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成29年度	平成 年度
二酸化炭素	17,302	

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>				0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量 (t)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位数 (t)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成29年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成34年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	17,302	33,988	0.5091	5.0	17,796	36,800	0.4836
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl/千t)	-	-	195.3	5.0	-	-	185.5
目標設定の考え方	原単位ベース年1% (5年間で5%) の削減率とした。 (省エネ法での削減目標と同様の設定。)						

※ 削減率 (d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	原単位 年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼成熱風炉の最適空気比の設定。</li> <li>・毎年度焼成炉内部の補修を実施し、燃焼効率を維持する。</li> <li>・肥料原料となる多様な石炭灰の特性に合わせた製造(最適焼成温度管理)を実施する。</li> </ul>
2	電気使用量の削減		<ul style="list-style-type: none"> <li>・排ガス集塵機のリテーナ500本をベンチュリータイプからコーンタイプに変更することで、ダストの払落し効率改善及び濾布の濾過吸引圧損低減となり、排ガスピロワ電力量削減となる。</li> <li>・工場炉室内の水銀灯及び事務所内の蛍光灯を高効率照明(LED化)へ変更することで電力量削減となる。</li> <li>・電力デマンド監視装置を制御室に設置し、電力消費の多い時間帯や運転状況を調査すると共に契約電力も超過しないよう、常時監視している。</li> <li>・昼休憩及び夜間の不要照明消灯。</li> <li>・空調温度の管理 (夏季:室温28℃, 冬季:室温20℃)</li> </ul>

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種 類	合計量
1		
2		
3		

### ○ その他の取組み

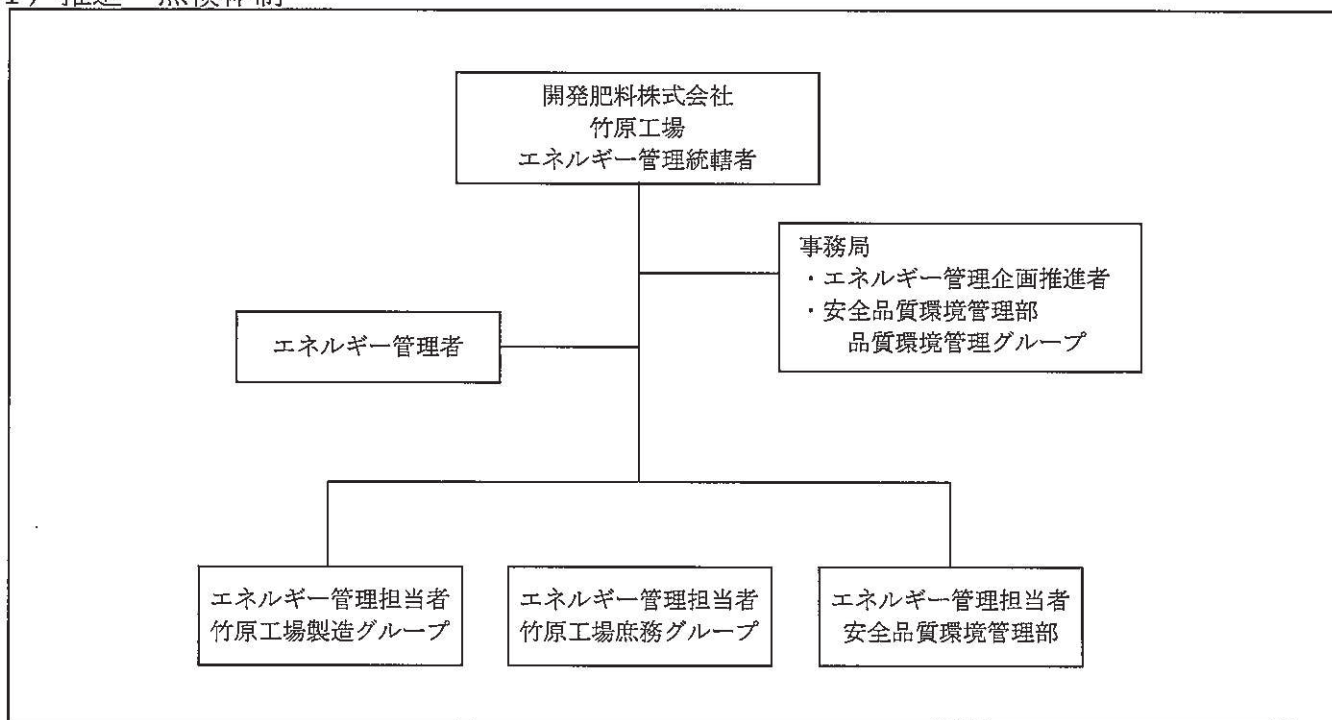
	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	コピー用紙使用量削減	コピー用紙使用量目標を前年度実績を基に毎年設定し、削減に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピー、再利用紙の使用推進。</li> <li>・使用量集計表を毎月掲示。</li> <li>・環境目標等説明会を開催し、目標を周知。</li> </ul>
2	事務用品グリーン調達の推進	グリーン調達率目標75%以上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーン調達率集計表を毎月掲示。</li> <li>・環境目標等説明会を開催し、目標を周知。</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。



## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

定期的にエネルギー使用状況や温室効果ガス排出抑制に向けて実施した取り組みを確認し、中長期的な設備更新並びに運転方法等の見直し検討を行う。

### (3) 計画書等の公表

年度初めに環境目標等説明会及び、エネルギー管理委員会を開催し、計画の検討・周知を行う。

